

令和4年度

# 県立図書館アクションプラン

## 1 運営方針

県民の生涯学習に対するニーズに広く応えるよう図書館機能の充実を図ります。

### ・調査研究のための図書館

資料や情報の提供、書誌の作成等を行い、生涯学習のための図書へのアクセスの向上に努めるなど、情報化を推進します。

### ・図書館のための図書館

市町村や学校の図書館等を支援するとともに、関係機関と緊密に連携し、市町村等の図書館を通じて県民の利用ニーズに応えます。

### ・保存のための図書館

一般図書、郷土資料・新聞・雑誌等を広く収集・整理・保存するとともに、貴重な資料等を活用したふるさと教育を一層推進します。



## 2 特色

県立図書館は、県民の情報センターとして、県民の「読みたい、知りたい、調べたい」ニーズに応えるため、資料収集やレファレンス、情報提供に力を入れています。利用者がどこでも十分な図書館サービスが受けられるよう、相互貸借や横断検索などにより、市町村立図書館等をサポートしています。また、郷土関係資料を整備するなど、蔵書資料の充実に努めています。経験を積んだ司書職員と県内トップクラスの蔵書数により、満足度の高いレファレンスサービスを提供しています。

\*レファレンスとは、利用者から寄せられる質問や相談に対して、司書が図書館の資料と機能を活用して、回答や解決のための情報提供をする援助のこと。

## 3 現状

令和3年度末現在、蔵書冊数は1,029,689冊です。このうち郷土資料183,556冊、特設文庫38,499冊を所蔵しています。

令和2年度と比べると、来館者数は102,762人で2%増加、蔵書検索(WebOPAC)の利用者数は3,006,043人で45%増加、県内外図書館への貸出借受冊数は27,940冊で5%増加しています。また、貸出冊数は154,417冊で1%減少、調査相談件数は14,195件で133%増加しています。

## 4 重点目標

県民の課題解決に寄与することを通じて地域文化の振興に貢献します。また、学校教育を支援し、家庭教育の向上に寄与する図書館づくりを進めます。

## 5 重点事項

### (1) 魅力向上と安心・安全に配慮したサービスの充実

- ・富山県の歴史、文化、自然など、郷土の理解に役立つ資料を広く収集します。また、電子版行政資料の継続的収集・提供に努めます。
- ・「読書バリアフリー法」の趣旨をふまえ、超高齢社会、障害者サポートに対応するため、大活字版図書の継続的収集、点字資料の集約、視覚障害者等用データ送信サービス(国立国会図書館)の提供など、さまざまなサービス提供に努めます。
- ・県内の図書館と連携し、資料提供のさらなる充実に努めます。また、外国語絵本や英語多読資料の収集・貸出を継続し、利用者に外国の語学や文化に親しむ機会を提供します。

- ・レファレンスサービスを充実し、利用者に満足してもらえる資料や情報を提供していきます。さらに、ビジネスや社会生活に必要な情報に手軽に接することができるよう、雑誌スポンサー制度を充実します。
- ・高度な図書館サービスを目指し、各種研修会への参加を通じて、図書館職員の資質の向上を図ります。また、実践的な研修の機会を提供して、県内図書館支援を強化します。
- ・アクションプランを毎年見直し、図書館サービスのあり方を検討します。
- ・危機管理マニュアルを適宜見直し、感染症や災害等への備えを行います。
- ・電子書籍を導入し、より多くの県民がいつでも利用できる図書館づくりに努めます。
- ・外国人向け利用案内や資料の充実を図り、外国人の利用を促進します。

## (2) 地域情報発信と情報化の推進

- ・地域研究やふるさと教育を推進するため、富山県に関する企画展示を定期的に行います。また、それらに関する文献リストやパスファインダーを作成し、県民に提供します。  
\*パスファインダーとは、あるテーマに関する資料や情報を探するための手段を紹介するもの。
- ・広く県民に情報発信するため、SNS(Twitter など)を活用した広報を推進します。
- ・郷土に関するレファレンスデータを蓄積し、地域情報の共有化を図ります。
- ・図書館見学ツアーや図書館活用セミナーなどを実施し、図書館利用の普及啓発を行います。
- ・調査研究環境の維持、サービスの向上を図ります。
- ・博物館などへの特別貸出を行い、郷土資料の活用を図ります。
- ・図書館システムを更新し、スマートフォンからの利用など、サービスの向上に努めます。

## (3) 学校教育活動への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

- ・県立学校等図書館への団体貸出を推進します。また、企画展示、出張展示等の企画や課題探究学習への支援などを通して相互連携を深めます。
- ・公共図書館間及び高等教育機関との連携を強化し、遠隔地利用者の利便性向上や広域的な相互貸借の充実を図ります。
- ・大学図書館と連携して「富山ビギナー講座」などに協力し、図書館の魅力を発信します。
- ・県議会図書室と連携し、行政機関が求める資料や情報の提供に努めます。
- ・講演会や企画展示、雑誌スポンサー制度等を通じて、関係機関や企業との連携を図ります。
- ・図書館見学・14歳の挑戦・図書館実習等を受け入れ、図書における学びを支援します。

## 6 参考指標

指標名及び指標の説明	H29～R1 実績の平均	R2実績	R3実績	R2との増減 ポイント (%)
(1)利用者数(①+②+③)	1,211,276	2,178,780	3,114,058	43
①来館者数	141,940	101,164	102,762	2
②インターネット蔵書検索者数(OPAC)	1,064,999	2,075,470	3,006,043	45
③電話・文書	4,337	2,146	5,253	145
(2)個人・他図書館・団体への貸出総数	175,098	156,293	154,417	▲1
(3)情報提供件数(SNSの情報提供数・HP更新回数)	1,042	1,661	2,056	24
(4)催事件数(企画展示・講演会・研修会等)	45	35	36	3
(5)レファレンス件数	13,582	6,087	14,195	133
(6)利用者満足度(開館日数、蔵書数、職員態度等) %	80	83	79	▲4

※「利用者満足度」は利用者アンケートによるものです。

▲は減を表す